

別紙

日本競輪選手養成所における先端トレーニング の追求について

2023年5月24日
公益財団法人JKA

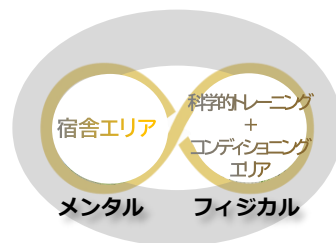
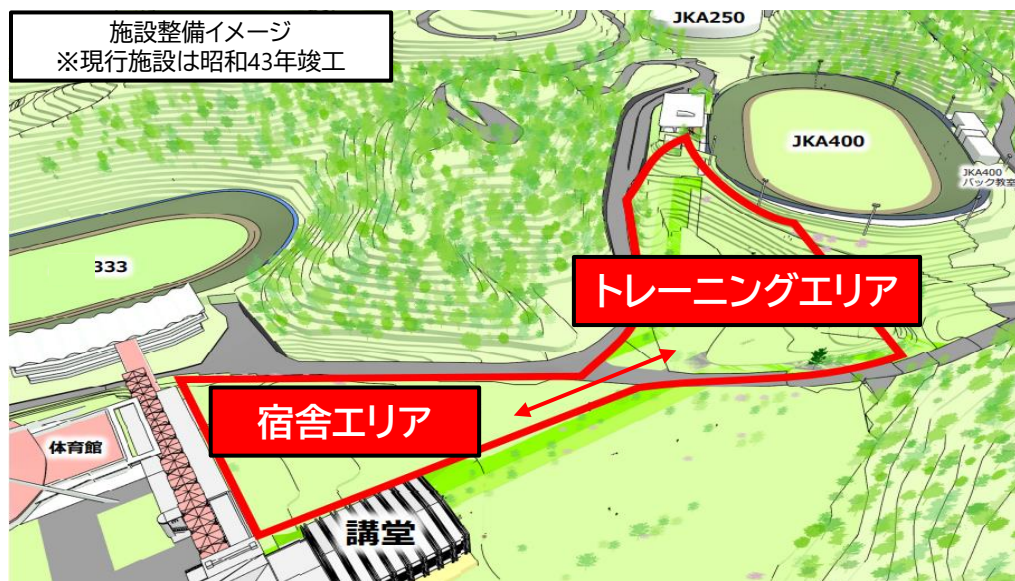
【JKAの取り組み】日本競輪選手養成所における先端トレーニングの追求

- 日本競輪選手養成所は、1968年の竣工から54年が経過しており、老朽化への対策が必要。
また、中期基本方針に基づき、「競輪選手の競技力向上」と「選手の発掘・育成」を推進するとともに、地域の防災拠点としての活用など、「開かれた養成所」とするための施設整備に向けた準備計画を進めている。
- 専門人材とテクノロジーの活用等の体制構築により先端トレーニングを追求し、競技者にとって魅力ある施設となるよう、まずは総合トレーニング棟と候補生宿舎について、2025年5月竣工に向けた施設整備を行う。

中期基本方針

- ・先端トレーニングの追求
- ・女子選手候補生が競技に集中できる環境整備
- ・JKAが所有する競技施設の開放

選手の競技力向上
選手の発掘・育成
地域に開かれた養成所



総合トレーニング棟
+
候補生宿舎

テクノロジーの活用による先端トレーニングの研究・推進

「訓練」と「休養」が結びついた一体的な施設

動線の改善によるトレーニングの充実

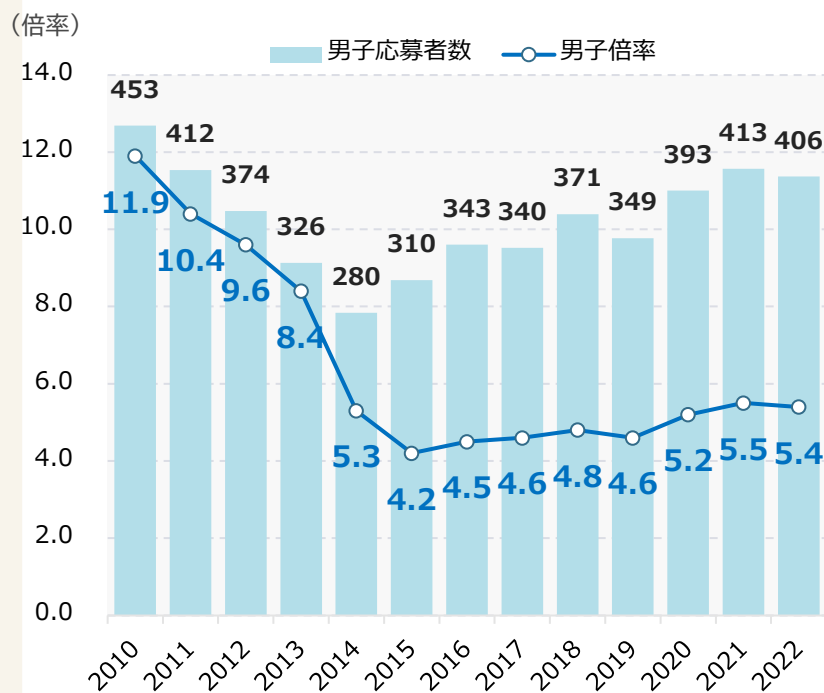
現代の価値観を考慮した男女の適切なゾーニング

開かれた養成所(地域の防災拠点・補助事業PR等)

(参考)日本競輪選手養成所応募者数・倍率推移

- 日本競輪選手養成所の女子応募者数と倍率(2.4倍程度)は男子選手の半分ほどであり、横ばい傾向となっている。
- 先端トレーニング追求や女子選手候補生が競技に集中できる環境整備を通じ、競技者にとって魅力ある施設とすることで、自転車競技選手の裾野拡大と養成所の応募者拡大を図る。

① 男子応募者数・倍率推移



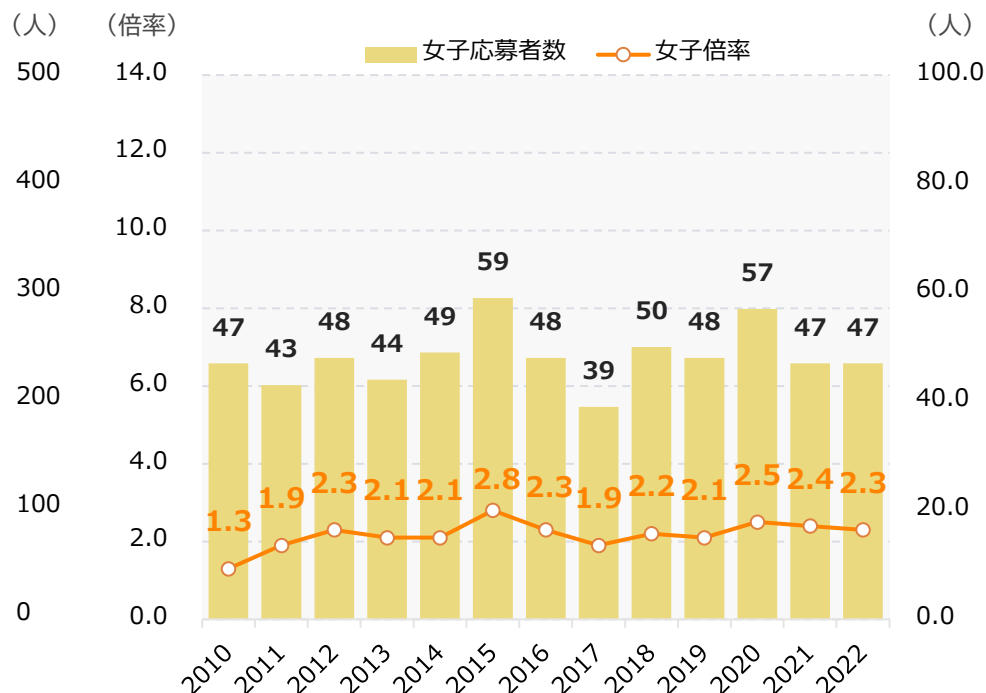
募集
人数

36名

50名

70名程度

② 女子応募者数・倍率推移



募集
人数

36名

20名程度